

林業大学校の設置に係る基本計画

令和5年12月

鹿児島県環境林務部

1 林業担い手の現状と課題

本県の林業就業者は、高齢化や木材価格の低迷などによる林業事業体の厳しい経営環境等を背景に近年は緩やかな減少傾向で推移しており、令和3年度の林業就業者数は1,407人で、10年前に比べて84%に減少している。

県では、林業就業相談窓口の設置や「鹿児島きこり塾」の開催、インターンシップ等の実施のほか、就業者の習熟度に応じた技能講習や資格取得のための研修などを実施してきたところであり、さらに令和3年度からは、県や大学、関係団体が個々に実施してきた研修を体系化した上で、「鹿児島スーパーきこり塾」として総合的に実施し、林業就業者の確保・育成を図ってきたところである。

こうした取組により、本県における新規就業者数は、年150人程度で推移し、全国でも上位に位置しているが、一方で離職者数も多い状況にある。

森林資源の循環利用を促進し、林業の成長産業化を実現するためには、木材生産や再造林、間伐等を担う林業労働力を確保することが不可欠であり、継続して新規就業者を確保するとともに、人材育成や労働環境の改善等を通じて定着率を高めていくことが課題となっている。

2 計画策定の目的

県では、本県にふさわしい人材育成の在り方を検討した上で、育成する人材像や林業担い手の確保・育成に係る基本的方向を示した「鹿児島県林業担い手の確保・育成に係る施策の方針」を取りまとめた。

同方針においては、今後の研修体系として、林業就業希望者向けの1年間の長期研修として林業大学校を設置することなどが盛り込まれた。

これを踏まえ、林業の基礎から最先端に至る幅広い知識と技術を兼ね備えた安全意識の高い即戦力となる人材の育成を目的として、林業大学校の設置に関する具体的な内容について定める基本計画を策定する。

3 名 称

林業大学校の名称は、「かごしま林業大学校」とする。

4 研修を実施する施設

研修を実施する施設は、次のとおりとする。

「森の研修館かごしま」（始良市）

「鹿児島大学農学部附属高隈演習林」（垂水市）

5 実習フィールド

実習フィールドは、次のとおりとする。

- ① 鹿児島大学演習林
- ② 国有林
- ③ 鹿児島県有林（森林技術総合センター試験林，森の研修館かごしま研修林，福山県有林等）
- ④ 市町村有林
- ⑤ 私有林

6 開校時期

「かごしま林業大学校」は、令和7年4月に開校予定とする。

7 研修内容及び募集人員等

(1) 長期研修のカリキュラムの概要

即戦力となる人材を育成するため、長期研修のカリキュラムは、次の4つの視点で構成し、具体的な内容は、次表のとおりとする。

- ・ 森林・林業に関する幅広い「知識」の習得
- ・ 高い安全意識と最新の林業にも対応する「技術」の習得
- ・ 林業に就業する上で必要な「資格」の取得
- ・ 林業の実践力を高める「就業体験」の実施

項目	内容
林業基礎	林業入門，森林の多面的機能 など
森林経営	森林経営計画，造林補助制度 など
調査測量	測樹，測量，ICTを活用した森林調査 など
安全衛生	林業労働安全衛生基礎，現場での安全対策 など
造林・育林	造林，苗木生産，保育作業 など
素材生産	チェーンソー伐木造材，林業機械操作 など
路網	路網基礎，森林作業道開設 など
木材利用	木材の加工・流通・販売，製材施設等現地研修 など
特用林産	しいたけ生産，たけのこ生産，枝物生産 など
森林保護	森林病虫害，鳥獣被害対策 など
一般教養	コミュニケーション能力向上，マナー講座 など
資格取得	次表のとおり
就業体験	インターンシップ

資格取得（特別教育，技能講習等）

資格等の種類	備考
刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育	
荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全衛生教育	
伐木等の業務に係る特別教育	チェーンソー
伐木等機械の運転の業務に係る特別教育	プロセッサ等
走行集材機械の運転の業務に係る特別教育	フォワーダ等
簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育	スイングヤーダ等
機械集材装置の運転の業務に係る特別教育	
小型移動式クレーン運転技能講習	
玉掛技能講習	
車両系建設機械運転技能講習	バックホウ等
不整地運搬車運転技能講習	
救命講習	
狩猟免許（わな）	
その他必要な資格等	

(2) 募集人員

募集人員は15名程度とする。（応募状況等により随時見直しを検討する。）

(3) 研修期間

研修期間は1年間とする。

8 運営方法

林業大学校の運営は県が行う。

9 サポート体制

運営にあたっては，講師，実習フィールド，林業機械の確保等について，関係者の協力が不可欠であることから，林業事業体，関係団体，大学，民間企業，行政が一体となったサポート体制を構築する。